

科目名	第二言語習得論特講	担当者	タジマ 田嶋 ミチオ 倫雄	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	第二言語習得論の多岐にわたる理論と研究結果を概観し理解を深め、基本的なデータ収集と調査による研究が実施できるようになることを目的とする。		
到達目標	第二言語習得論の学際的で多様な側面をもつ理論に照らし合わせながら、外国語教育また外国語学習に関する一般的見解と、学術的データに基づく証例とを比較検討しつつ、外国語研究および教育への貢献と今後の発展を考察する。履修者選択による研究対象となりうる題材について、文献研究さらに基本的データ収集と分析方法の知見を広める。さらに、実施可能な調査・研究の計画書および報告書を試作する。		
学修方法	レポート課題を提出して形式的小および内容的な指導を受ける。その指導をもとに課題を加筆・修正して再提出をする。学習の振り返りと指導に基づく加筆・修正の繰り返しを通して段階的にレポート課題を仕上げていく。		
スケジュール	課題の初稿の提出締め切りは、基本教材1のレポート課題1は5月末、基本教材1のレポート課題2は6月末、基本教材2のレポート課題1は10月末、基本教材2のレポート課題2は11月末とする。この予定に変更がある場合は、担当者より履修者にメールで連絡をする。修正による再提出を指導された場合は、添削物が返却後2週間以内に提出すること。但し、締め切りの変更を要する場合は、なるべく早めにスケジュール調整の依頼を担当者までメールで通知すること。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	60%	レポートの最終稿の形式や内容を評価する。
	平常評価	40%	適宜実施予定のアンケートやクイズへの参加、レポート課題の提出、レポート添削後の修正について評価する。
履修者への要望	メール等で随時通知する。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： Patsy M. Lightbown and Nina Spada (著) 教材名： <i>How Languages are Learned</i> . 4th ed. Oxford University Press, (2013) ISBN: 978-0194541268 £ 24.50 (3,900 円+税)
	第二言語習得論を基礎から学び、自分の興味ある研究分野の方向性を探る上で参考になる入門書といえる。第一言語習得からはじめ、第二言語習得の特徴、理論、調査結果など多くの例が提示されていて、全体を概観でき、意欲的な履修者にも読み応えのある内容である。
参考図書	①白井恭弘 (著) 『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』 (岩波書店, 2008 年) ISBN:978-4-00-431150-8 720 円+税 ②松村昌紀 (著) 『タスクを活用した英語授業のデザイン』 (大修館書店, 2012 年) ISBN:978-4-46-924574-5 2,400 円+税
履修上のポイント	基本教材や参考図書を中心に、また掲載されている引用文献なども参考にしながら、焦らずに熟読すること。担当教員と連絡を取り、必要な場合には内容や進度について相談すること。
レポート課題 1	教材 <i>How Languages are Learned</i> の Chapter 1 と 2 を読み、外国語を教える教師にとって第二言語習得論を知ることの重要性を日本語 3,000 字程度で述べること。 留意点：教材の引用、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも加えること。
レポート課題 2	教材の Chapter 3 を読み、学習の個人差について興味のある事柄を選択し、また学術雑誌から査読付き研究論文を 3 本以上 (英文の論文 1 本以上) 選び熟読し、その内容を簡潔にまとめること。 留意点：先行研究をまとめたもの、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも含めて 3,000 字程度で述べること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 教材名： 教材 1 と同じ
	教材 1 と同じ
参考図書	①セリガー、ハーバート&ショハミ、イラーナ (著) 『外国語教育リサーチマニュアル』 (大修館書店, 2001 年) ISBN:978-4-46-924457-1 2,800 円+税 ②JACET (大学英語教育学会) SLA 研究会 (編) (代表:佐野富士子) 『第二言語習得と英語科教育法』 (開拓社, 2013 年) ISBN:978-4-7589-2181-7 3,200 円+税
履修上のポイント	基本教材や参考図書を中心に、また掲載されている引用文献などを参考にしながら、焦らずに熟読すること。担当教員と連絡を取り、必要な場合には内容や進度について相談すること。
レポート課題 1	教材 <i>How Languages are Learned</i> の Chapter 4 と 5 を読み、第二言語学習を説明する理論と、学習者の学習を観察することについて 3,000 字程度で述べること。 留意点：教材の引用、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも加えること。
レポート課題 2	教材の Chapter 6 と 7 を読み、教授法の提案と通説について興味のある事柄を選択し、学術雑誌から研究論文を 3 本以上選び (英文の論文 1 本以上)、その内容を簡潔にまとめること。 留意点：研究計画書 (想定も可) を含め、学術論文の体裁を意識し 3,000 字程度で作成すること。